

(1)ハエたたきで練習する아요/어요

「아요/어요」の学習後に、活用法の練習に使えるゲームです。ハエたたきを手に取り、教師が提示する単語カードを見て、その単語が「아요」に付くものなら「아요」のハエの絵を、「어요」に付くものなら「어요」のハエの絵を叩けばいいゲームです。

***準備する物**

ハエたたき、「아요」「어요」が書かれたハエの絵(図1)、単語カード

【活動順】

- ① 「아요」「어요」「해요」のハエの絵をテーブルの上に並べる。
- ② 1対1でゲームができるように学習者を2グループに分ける。
- ③ 学習者は教師が提示する単語カードを見て、その単語が「아요」に付くものか、「어요」に付くものかを判断し、該当するハエの絵を叩く。
- ④ 速く正しいハエの絵を叩き、単語の丁寧形を正確に言えた方が勝ちです。不正解の場合は、隣の人に正解するチャンスを与える。
- ⑤ ゲームが終わった学習者は列の後ろに付き、繰り返しゲームに参加する。
- ⑥ 勝った人にはチケットを渡し、ゲーム終了後にチケットを多く持っているチームが勝ちになる。



図1. 「아요」「어요」が書かれたハエの絵

| 이름: | | | |
|-----|------|-------|-----------|
| 일수 | 날짜 | 성적 | 응원(応援)메시지 |
| | 10/9 | 17/20 | |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |

응원 메시지 예

〔명칭/성명/성〕잘했어요!本当によくできました!
 좋아! いいね! 毎日ですよ!すごいです!
 잘 외웠어요! よく覚えました!
 앞으로도/다음에도 파이팅! これからも(次も)ファイト!
 응원해요! 応援です!
 수고했어요! お疲れ様です!
 많이 공부했네요! 沢山勉強しましたね!
 만점을 향해 파이팅! 満点を目指してファイト!
 멋지다! 素敵! かっこいい!
 오늘도 열심히 잘했어요! 今日も頑張ってよくできました!
 잘! 最高! 대박! (やばいほど)すごい!
 완전 완벽! 完璧!
 완벽야! 天才だよ! 최고 기적! 最高記録!
 오늘은 어땠어요! 같이 파이팅하자!
 今日も嬉しいです!一緒にファイトしよう!
 어려운 단어도 잘 외웠어요!
 難しい単語もよく覚えました!
 다음엔 좀 더 열심히! 次はもう少し頑張ろう!
 아깝다! 惜しい!
 공부하면 더 잘할 수 있어요!
 勉強すればもっとよくできますよ!

図2. 単語テストに用いる採点表

(2)ストレスのない単語テスト

単語テストをクラスの学生同士で行います。制限時間(1名約3分~4分)を与えて、テストし合います。毎回の成績は教師が配布した採点表(図2)に記入し、成績に対する応援メッセージもテストした学

生に書いてもらいます。このテストは成績には反映しません。学生の自主的な学習を促すことが目的です。教師の負担も減ります。

***準備する物**

採点表（図2）：日付、成績、「応援メッセージ」が記入できるもの

【活動順】：前の時間に試験範囲を案内し、試験があることを伝える。

- ① 二人ペアを組み、テストを受ける順番を決める。学習者数が奇数の場合は3人でもいい。
- ② テストをする順番を決め、制限時間の間教科書の試験範囲から問題を出す。基本的には日本語を言うとその韓国語の単語を口頭で言ってから韓国語を書くようにする。
*韓国語の非専攻者の授業では単語を書かずに口頭で言うだけでもいい。
*テスト問題は教師が異なる2枚のテスト問題を作成して配布しても良い。
- ③ 二人のテストが終わったら、採点した後相手に応援メッセージ（成績表の裏面にある応援メッセージ参照）を書いてもらう。
*自分で採点してもいいし、相手がしてもよいとする。
- ④ 教師は授業後に採点表を回収し、テストの状況を把握する。

*学習者同士の単語テストは毎回の授業で行う。それとは別に1学期に2回程度成績に入れるまとめの単語テストを別途行う。

*応用：文法の定着確認テストにも利用できる。また、音読練習にも活用できる。制限時間（2分～3分）内に本文を何回も声を出して読む。覚えられない人は覚えて行う。この活動が簡単な学習者には、日本語訳を見て言う方法もいい。成績表には何回音読できたかその回数を記入する。

(3)スキットの発表で学生に自然な演技をさせる方法

初級の授業で、毎單元終了後にその單元で学習したものを言い、スキットの発表を行っています。作成したスキットは教室の前で実際話す感じで発表してもらうのですが、緊張しているせいかいつも不自然な演技になることが課題でした。しかし、課題を出す時にある一言を追加したら、学習者の演技がとても自然になりました。授業で行っている課題の出し方と自己評価法について簡単に紹介します。

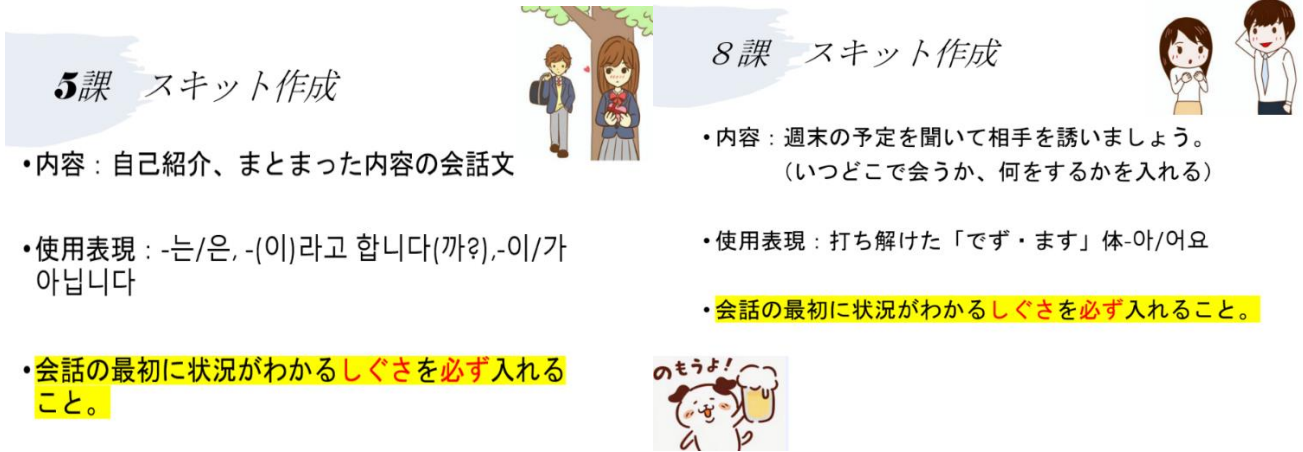
【活動法】

- ① 2名～3名のグループを作る。
- ② スキットの課題を提示し、スキットを準備する。課題提示の際は、その單元で学習した項目を使ってどのような内容の会話文を作るかを紹介する。その際大事なポイントは、「**会話の最初に状況がわかるしぐさを必ず入れる**」ように指示する（図3）。
- ③ 学習者は次回の授業で発表できるように練習してくる。
- ④ 発表の前に練習時間を設ける。その時、教師は全員の韓国語と発音のチェックを行う。
- ⑤ 発表の自己評価ポイント（図4）を喚起させた後、発表してもらう。
- ⑥ 発表を聞く人には、スキットの内容について確認の質問をしてから、発表を終える。

⑦ 各自、自分の発表について採点表に**自己評価**する。

*採点表は、単語テストの際に使用するものを用います。

【課題提示法と自己評価ポイント】使用教材『最新チャレンジ！韓国語』金順玉・阪堂千津子著



5課 スキット作成

- 内容：自己紹介、まとまった内容の会話文
- 使用表現：-는/은, -(이)라고 합니다(까?),-이/가 아닙니다
- 会話の最初に状況がわかる**しぐさを必ず入れる**こと。

8課 スキット作成

- 内容：週末の予定を聞いて相手を誘いましょう。
(いつどこで会うか、何をするかを入れる)
- 使用表現：打ち解けた「です・ます」体-아/어요
- 会話の最初に状況がわかる**しぐさを必ず入れる**こと。

のもうよ!

図3. 課題提示の際に紹介したスライド

発表の時の自己評価ポイント

- ①大きい声で、実際話す感じで発表できた
- ②演じながら（身振り手振り等）自然な感じで発表できた
- ③言い淀みがなく流暢に話せた

採点表への記入例

①○ ②× ③○

図4. 自己評価ポイント

*授業におけるスキット活用に関する詳しいことは「韓国語のコミュニケーション能力向上のためのドラマ的手法の活用—单元ごとの実施と充実したフィードバックを通して—」『国際地域研究論集』第14号（2023年）をご参照ください。必要な方はメールいただければ、お送りします。